

## ☆32 義務(応用)義務の禁止

四角語句を、線の上に練習してください。



英文には、必ず動詞が1つある。つまり、**be 動詞**と**一般動詞**は、一緒に使えない。

テスト後の復習で大切なこと。感覚的にできるようになりそうかを判断すること。

あなたは定期テストや実力テスト、そして過去問と、たくさんテストを解きます。その後「解き直し」をする時に、間違えたところを、「なんでそうなるのか」考えたり、調べたり、人に聞いたりするかと思います。そこで…

大切なことは、何でもかんでも理解できるまで考えたり調べたりしないことです。

まず解説を読んで、理解できるか判断します。次に、理解できなかった場合、感覚的に、自分に合うタイプの問題かどうかを判断します。

ポイントは、「これまたテストで出ても、きっときついだろうな」と、思うかどうかです。

この2つのステップを軸に、テスト後の復習を行ってほしいと思います。

正答率50%以上の問題を、どれだけできているか確認すること。これが大切です。

テスト後の復習の続きです：中3の秋～の復習法となります。それは、正答率チェックです。「正答率が分かるテスト」という前提ですが)

正答率50%以上の問題を基本問題と考え、それがどれだけできていたかを調査します。

全部できていたら、今回のテストに出ていない他の基本たちも、きっと大丈夫です。しかし、いくつか落としていたら、他の単元も、基本的に抜けがある可能性が高い、と言えます。

よって、「今日から、基本重視の勉強をするぞ」または「基本は大丈夫。応用問題を中心に勉強するぞ」と、今後の方向性を決めることができます。このように、テスト後の正答率チェックは、とても大切です。ただし、この「正答率チェック」からの学習方針の決定は、中3の秋以降限定の話です。中3の夏休み前は、ほとんどの子は、「基本的に抜けがある」ためです。

現在の文で、主語が三人称単数(I, you以外の1人)のとき、be動詞はisとし、一般動詞にはsまたはesをつける。

(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

❁ **must not** マストウ ナットウ は、**禁止** : ~してはいけません。

問題165 文を完成させなさい。

(1) あなたは夕食後、テレビを見てはいけません。

You \_\_\_\_\_ TV after dinner.

must not の短縮形は、**mustn't** マストウ と発音する。

(2) You mustn't eat this cake.

あなたはこの [ \_\_\_\_\_ ]。

(3) あなたはここで、走ってはいけません。

You \_\_\_\_\_ here.

英語の発音について。

その2

**national** ナショナルは、→ナシヨナウ→ナシヨノオのようになります。

エル(1)は、「ウ」と発音しますので、ナショナルがナシヨナウになります。この「ウ」は、子音のエルですので、つまり、そもそも母音ではない「ウ」なので、脱落します。これで、ナシヨナとなりますね。そして、最後をあいまいに言うのも、英語の特徴ですので、ナシヨナの「ナ」をあいまいに言って、完成です(ナシヨノオに聞こえます)。

(例) I like soccer. は、  
アイライ サックウ と聞こえます。  
サッカー→サックウ

英語とは、いかにあいまいにして、発音しないかを追求している言語だと言えます。(個人の感想)。

**must not** について。  
マストウナットウは、マスナと聞こえます。

**mustn't** について。発音がマストウですので、**t**を書き忘れがちです。注意してください。

**mustn't** について。  
マストウは、マスタと聞こえます。マスのときもあります。

英語の発音について。その1

(例) **basketball** について。  
バスケットボールは、バセバとなる。  
バスケット ボウ  
バセット バア  
バセ バ  
の屈屈です(おそらく)。  
そして、実際に通じます。

英語の発音について。

その3

英語は、最後が子音(aiueo以外)のとき、小さくあいまいに発音します。

(例) I don't like TV.  
アイドン ライキ

**don't** ドントは、最後が「ト」なので、小さく発音すると、ドントウとなります。さらに小さくなって、消えて、ドンです。

**like** ライクは、最後が「ク」なので、小さく発音すると、ライク、これがライキに聞こえます。

このように英単語は、最後を、小さくあいまいに発音することが多いです。

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。



四角語句を、線の上に練習してください。

## ☆32 義務(応用)義務の禁止

学校の授業が難しく感じるのには、理由があります。それは授業のレベル。

学校の授業は、真ん中高めの学力に合わせて進みます。カリキュラムがあるため、逆算すると、そうなるのです。よって、もしあなたが、

「授業、難しい…。ぼくって(私って)頭が悪いのかな…」とっているとしたら、それは、完全な誤解だったのです。

では学年順位が、「真ん中高め」に届いていない人は、どうしたらいいのでしょうか。それはシンプルに、予習復習が必要になる、ということです。でも、いきなり両方は厳しいかと思えます。まずは「どちらか」一つをやってほしいと思います。

「予習だよ」「復習だよ」とは、他人には言えません。向き不向きがあるからです。まずは1週間、あなたが自分で試してみてください。その上で、より良いほうを選んでください。



世の中には「フエイクはしよせんフエイクだ」と言う人が沢山いるけど、

出典「九龍ジェネリックロマンス」  
眉月じゅん氏 集英社 より

英文は、「主語+動詞～」できている。

(例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)  
これ全部が主語 動詞 ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

**Who makes dinner?** (誰が夕食を作りますか。) 疑問詞の主語は、三人称単数となる。

❁義務の否定について。義務の否定は、禁止ではない。まずここを覚えてほしい。つまり、  
must not は禁止を表すので、義務の must の否定は、must not とはならない。← ほお…

義務 (～しなければならない) の否定 は、禁止 (～してはいけない) ではない! ← うん…

must not  
は、禁止を  
表します。

(例) <義務>あなたは走らなければならない。← この義務を否定すると…

- あなたは走らなくてよいよ。 ← あなたの自由だよ。義務じゃないよ。
- あなたは走る必要ないよ。 ← 別に、走らなくていいよ。義務じゃないからね。
- × あなたは走ってははいけませんよ。 ← 禁止ですよ。ダメだよ (義務の否定ではなく、これは「禁止」)。

これらの例からも、義務の否定は、禁止ではない、と分かる。

❁よって、義務を表す must の否定 は、  
**don't have to** : ~しなくて良い、~する必要はない となる。

主語が he, she など、  
三人称単数ならば、  
**doesn't have to**  
になります。

問題 166 文を完成させなさい。

(1) You must run fast.  
(あなたは速く走らなければならない。を否定文に)

You \_\_\_\_\_ to run fast.

(義務じゃないので) あなたは [ \_\_\_\_\_ ]。

(2) He must get up early on Sunday. (義務の否定文に)

He \_\_\_\_\_ get up early on Sunday.

(義務じゃないので) 彼は日 [ \_\_\_\_\_ ]。

「義務ではない」と、「禁止」の違いとは。

「義務だよ」の否定は、「義務ではないよ」です。つまり、「禁止ですよ」とは、別物ですよ。

(例) 部活で腕立て100回が、義務だと思っている友人に、「義務じゃないよ」と伝える時、あなたはきっと、「別に100回やらなくてもいいよ」と言うと思うのです。

少なくとも、「100回やったらダメらしいよ。」とは言わないでしょう?

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

## ☆32 義務(応用)書き換え

四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。



3

文章題を得意にしたいならば、数学こそ、教科書を、何度も読み込みます。

文章題が苦手な人は、解いているとき、「どう求めればいんだっけ? えっと、数字数字っ…」、こう考えがちです。

そして問題文にある数字を、パズルのように、「公式」に当てはめようとして。

ですので、ダイレクトに公式に当てはまらないレベルの問題になると、一気に苦しくなります。

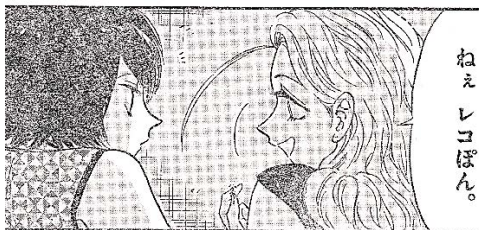
一方、文章題が得意な人(苦手とっていない人)は、「このパターンは、『あれ』か。まずは、弟と兄、それぞれの式を立てて、連立させて解くやつだな。」と、パターンというか、大まかな流れを最初に考えます。

だからあなたも、解法パターンをたくさん読み覚えましょう。そのために教科書があるのです。「例題→解答」を、何度も読み込みましょう。

そもそもテスト当日、ゼロから解法(道筋流れ)を発見する時間なんて、ないのです。



人工だつてこんなに  
輝けるんだって、  
勇気づけ  
られるから。



ねえ  
レコぽん。

出典「九龍ジェネリックロマンス」  
眉月じゅん氏 集英社 より

英単語の覚え方: **ローマ字読みで覚える。**

**book** は「ボオク」、**China** は「チナ」、**write** は「ワリテ」のように。

これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

✿ **must = have to** : ~しなければならない [義務]。

- **must not** : ~してはいけない [禁止]。
- **don't have to** : ~しなくていい、~する必要はない。

**問題 167** 文を完成させなさい。

(1) あなたは走らなければなりません。

You \_\_\_\_\_ run.

You \_\_\_\_\_ run.

(2) Aki studies English every day. (義務で表しなさい。)

Aki \_\_\_\_\_ English every day.

Aki \_\_\_\_\_ English every day.

(3) あなたはこのケーキを、食べてはいけません。

You \_\_\_\_\_ eat this cake.

(4) Taro must get up early. (義務の **must** を否定文にして、日本語にもすること。)

Taro \_\_\_\_\_ get up early.

太郎は [ \_\_\_\_\_ ]。

**主語** が **he** や **she** のとき、つまり現在の文において、主語が **三人称単数** のとき、

つまり主語が **I・you 以外の1人** (1つ) のとき、have to の have は、**has** になる。

**have to の have** について。

この **have** は一般動詞です。よって、現在の文において、主語が三人称単数(I, you 以外の1人)の場合、**has** になります。

● 発音注意な仲間たち。

**have to** ハフトウ [義務]

**has to** ハストウ [義務]

**must** マストウ [義務]

**mustn't** マストウ [禁止]

**don't have to** ドントハフトウ [不必要]

**doesn't have to** ダズントハフトウ [不必要]

(しなくていい。する必要はない。)

**There is** ゼアリーズ [存在を表す]

**There are** ゼアラー [存在を表す]

(~があります、います。)

**mustn't** について。発音がマストウですので、**t** を書き忘れがちです。注意してください。

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。



### 英語における4技能のうち、「読み書き」を極める方法は、単語力です。

英語を母国語とする赤ちゃんたちは初め、「car! run!」と単語で話し、成長するにつれて、「The car is running!」と、文になります。

一方私たちのように、第二外国語として英語を学ぶ者は、この「話す」というスキルを身に付けるのは、かなり後です。まずは「読む」ことから始めるべきで、次いで「書く」、それから「話す」となります（聞くは、一番最後です）。

つまり、相手を必要としない「読み書き」を基本にして、それから「話すと聞く」の学習へと進みましょう。

ただし、高校・大学入試や、日常会話レベルの習得を目指す場合は、ある程度「読み書き」ができるようになれば、「話す聞く」も対応できます。なぜなら、使用される単語が限定されているため、場面の想像力で対応できるからです。



私みたいに  
偽物の輝きに  
本物の輝きを感じる  
人間もいるってこと、  
忘れないでね。

出典「九龍ジェネリックロマンス」  
眉月じゅん氏 集英社 より

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すてにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。

私（塾長）も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。とていやすいです。

### 3.2 義務（応用）【解答】

【解答】義務（応用） 3.2

- 問題 | 6.5 (1) must not watch (2) ケーキを食べてはいけません (3) mustn't run
- 問題 | 6.6 (1) don't have 速く走る必要はありません（速く走らなくて良いです、も可）  
(2) doesn't have to 曜日に、早く起きなくて良いです（早く起きる必要はありません、も可）
- 問題 | 6.7 (1) must, have to (2) must study, has to study (3) mustn't  
(4) doesn't have to 早く起きる必要はありません（早く起きなくて良いです、も可）

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。